

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	行動の科学 (Ethology)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	動物および人間行動の進化		
担当者名 (Instructor)	入江 尚子(IRIE NAOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

動物および人間行動を科学的に分析し、客観的に評価することを学ぶ。また、進化論を正しく理解し、人間を含めた動物行動の適応的意義を理解する。そのうえで、生物の1種として、ヒトがどのように現在のような特性を獲得してきたのかを進化論的観点から考え、現代社会にみられる社会問題について、生物学的アプローチを試みる。

Students will learn how to scientifically analyze and objectively assess animal and human behavior. Also, students will understand the theory of evolution correctly and understand the adaptive significance of animal behavior. Then, we will consider how humans, as a type of organism, have acquired their current characteristics and try a biological approach to the social problems found in modern society.

#### 授業の内容 (Course Contents)

スライドとビデオを使用し、進化論と動物行動の適応的意義について講義する。また、最新の論文などを紹介する。また、現代社会問題を取り上げ、それらを生物学的観点から考察した際に浮き彫りとなる人間社会特有の異常現象についても議論する。

Using slides and videos, we will provide lectures on evolutionary theory and the adaptive significance of animal behavior. In addition, we will introduce the latest papers.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 進化思想の歴史
3. 自然淘汰
4. 性淘汰
5. 性淘汰2
6. 血縁淘汰～アリの社会の進化
7. 互恵的利他行動～親切の進化
8. 行動の原因としくみ
9. 情報とコミュニケーション
10. 情報とコミュニケーション2
11. 動物研究の現場
12. 人間の社会問題への生物学的アプローチ
13. 人間の社会問題への生物学的アプローチ2
14. 授業総括

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

必要に応じて授業内で指示する。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 複数回の小レポート(60%)

#### テキスト (Textbooks)

なし

#### 参考文献 (Readings)

1. 長谷川寿一・長谷川真理子、『進化と人間行動』、東京大学出版
2. スティーブ・パーカー、2018、『動物が見ている世界と進化』、エクスマレッジ (ISBN:4767824245)
3. カール・ジンマー、『進化～生命のたどる道』、岩波書店
4. 入江尚子、2021、『ゾウが教えてくれたこと ゾウオロジーのすすめ』、化学同人 (ISBN:9784759816907)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)